

授業科目名： 発達障害概論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：西永 堅 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	特別支援教育に関する科目		
各科目に含めることが 必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、特別支援教育に関する科目であるが、障害のあるなしにかかわらず、一人ひとりの発達は同じではないことを前提としている。他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の3つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけるための科目である。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 発達障害研究、LD研究の流れ、定義とLDの状態像及び近接領域（ADHD、自閉スペクトラム症、知的障害等）について理解する。 (2) 発達障害支援のための教育システムについて理解する。 (3) 子どもの認知発達とその支援について理解する。 			
<p>授業の概要</p> <p>発達障害とは、低年齢期に指摘される認知発達の遅れのことである。そのうち、LDとは、全般的な知的発達の遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなど部分的な知的発達の遅れがあることを指す。LD、ADHD、自閉スペクトラム症などの概念を理解しながら、特別なニーズ教育であるインクルーシブ教育について学んでいく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：LDの理解：学習障害の定義の整理</p> <p>第2回：LDの理解：学習面（読む、書く、計算する）について</p> <p>第3回：LDの理解：行動面・社会性の特徴</p> <p>第4回：ADHDの理解：多動・衝動性・不注意について</p> <p>第5回：自閉スペクトラム症の理解：社会的コミュニケーション・常同行動について</p> <p>第6回：知的障害の理解：知能指数・知能検査について</p> <p>第7回：その他の発達障害（てんかん、行為障害等について）</p> <p>第8回：教育支援システム：インクルーシブ教育について</p> <p>第9回：教育支援システム：個別の指導計画・個別の支援計画・学習指導案</p> <p>第10回：教育支援システム：特別支援教育コーディネーターについて</p> <p>第11回：教育支援システム：チームアプローチと連携について</p> <p>第12回：子どもの発達：発達心理学概論</p> <p>第13回：子どもの発達：認知発達について</p> <p>第14回：子どもの発達：言語発達及びその他の発達について</p>			

第15回：子どもの発達：社会性の発達について
定期試験

スクーリングでの学修内容

スクーリングでは、テキスト学習だけではイメージしにくい実際例を、映像教材を用いるなどして理解を進める。また、理解の促進のため、積極的にインタラクティブな講義を行っている。

(第1回から第15回全ての内容を横断的に含む。)

教科書

- (1) 西永 堅 (2017) 『基本から理解したい人のための 子どもの発達障害と支援のしかたがわかる本』 日本実業出版社
- (2) 文部科学省 (2018) 『特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 平成29年4月告示』 海文堂出版 文部科学省 HP で参照しておくこと

参考文献

- (1) 山口 薫・西永 堅 編著 (2010) 『学習障害・学習困難の判定と支援教育』 文教資料協会
- (2) 山口 薫・金子 健 (2004) 『特別支援教育の展望』 日本文化科学社
- (3) 無藤 隆・大坪 治彦・岡本 祐子 (2009) 『よくわかる発達心理学』 ミネルヴァ書房
- (4) 秦野 悦子 (2001) 『ことばの発達入門 (入門コース・ことばの発達と障害)』 大修館書店
- (5) 日本ポーターズ協会 監修清水 直治・吉川 真知子 (2015) 『発達が気になる子どものためのポーターズプログラム入門: 0歳から家庭でできる発達支援』 合同出版

学生に対する評価

レポート評価 (25%) スクーリング (25%)、科目修得試験 (50%) の割合で総合して評価する。